

(一財) 日本ヘルスケア協会から

発行：日本ヘルスケア協会 事務局

今回は2月9日の前回定時記者会見以降の動きについてご報告いたします。

1. 緊急事態宣言継続の中で、野菜・果物等の店頭POP表示Pjt.はWEB中心に具体的なスケジュールを進めています

2月2日、3月5日の総理会見により緊急事態宣言が継続される中で、内閣官房「新技術等実証計画（野菜等の表示に関する自主マニュアル作成）」プロジェクトは、ほとんどの実務的な手続きをWEBに切り替え、ほぼ順調に進捗しています。

規制のサンドボックス制度は、新たなビジネスモデルの実施が、現行規制との関係で困難である場合に、新しい技術やビジネスモデルの社会実装に向け、申請者が規制官庁の認定を受けた実証を行い、実証により得られた情報やデータを用いて規制の見直しに繋げていく制度で、これを推進していくために「革新的事業活動評価委員会」が設置されています。この委員会は安念潤司・中央大学法科大学院教授を委員長とする13人の委員で構成されており、実証計画に対する主務大臣の見解に意見を述べるとともに、必要に応じ内閣総理大臣を通じて主務大臣に対し勧告することを職務としています。3月25日午前に開催される次回委員会には、JAH I関係者も参加し、昨年10月5日の認定から半年間の進捗を報告することとなっています。

2月12日からの事業公募に応じた参加企業・店舗に対する「同意書」を得るための勉強会を2月12日の地域スーパーマーケット（福島）を皮切りに開始するとともに、埼玉、愛知、北海道、大阪等からの応募企業に対して勉強会の日程調整等を行っています。

同時に、本プロジェクトでは生活者・消費者に向けた野菜摂取の啓発ムック本の制作を進めており、野菜・果物のやさしいイメージキャラクター制作で著名なデザイナーのボランティア協力をいただく計画が進んでいます。

2. 第4回学会年次大会・活動発表会について検討し、決定しました。

令和2年度につきましては、昨年4月28日開催の臨時実行委員会で中止を決定し、その旨、ホームページにてお知らせさせていただきましたが、次回第4回につきましては、2月24日（水）開催の臨時実行委員会において検討し、次の通り決定いたしました。

- (1) 第4回は、WEB開催を中心とした計画とし、2021年9月6日（月）～12日（日）をバーチャル開催日とする
- (2) WEB開催は、従来のJAH I学会・活動発表会をそのままバーチャルに移した形ではなく、WEB開催に相応しい内容を事前の実行委員会で計画する
- (3) 例年会場を借用する明治大学殿は、7月1日（木）に会場の対外貸出しの可否を発表されるので、会場の借用が可能となったら、WEB開催に加えて、明治大学でのリアル開催を計画に付け加える
- (4) リアル開催の予定日は10月1日（金）～2日（土）の2日間とする

3. 部会・研究会の動き

- (1) 在宅感染症予防部会・在宅介護部会・フレイル対策部会は3部会合同ウェビナー「コロナ禍における生活習慣を考える」を収録、3月14日（日）16:00～16:40に配信します。
- (2) ヘルスケアの職能に関する研究会は堀美智子座長によるオンラインセミナー「女性の健康～薬局・ドラッグストアからの情報発信」を収録、3月1日（月）～31日（水）の間、オンデマンド配信しています。
- (3) ドラッグストア在宅介護推進部会は3月4日（木）部会を開催し、「在宅介護に資する商品の棚割り動画等をシリーズで制作していくことを決定しました。
- (4) フィットセラピー部会は2月10日（水）午後、池田明子部会長、佐々木晶子講師、林真一郎講師によるオンラインセミナーを開催しました。

4. その他

今西会長対談シリーズは次回ニプロ(株)佐野嘉彦社長、次々回全国スーパーマーケット協会横山清会長の予定です。（『月刊H&B リテイル』4月号、5月号掲載）